

NEWS LETTER

Vol.14
2023.1月

主要指標 (2022年11月速報値)

※請負は請負・委任の合計

[会員数(人)]		前年同月比較		[新入会員数(人)]		前年同月比較		[退会会員数(人)]		前年同月比較	
合計	694,205	(▲ 5,293)	合計	68,452	(+2,899)	合計	60,898	(▲3,576)	男性	38,474	(▲2,045)
男性	455,767	(▲ 6,142)	男性	41,167	(+ 918)	女性	22,424	(▲1,531)	女性	22,424	(▲1,531)
女性	238,438	(+ 849)	女性	27,285	(+1,981)						
[受注件数(件)]		前年同月比較		[就業延人員(人日)]		前年同月比較		[契約金額(千円)]		前年同月比較	
合計	2,484,647	(▲50,232)	合計	44,166,383	(▲150,945)	合計	219,646,500	(+3,814,915)	請負	187,401,080	(+1,758,403)
請負	2,436,290	(▲53,495)	請負	38,279,679	(▲395,611)	派遣	32,245,420	(+2,056,512)	派遣	32,245,420	(+2,056,512)
派遣	48,357	(+ 3,263)	派遣	5,886,704	(+ 244,666)						

トピックス

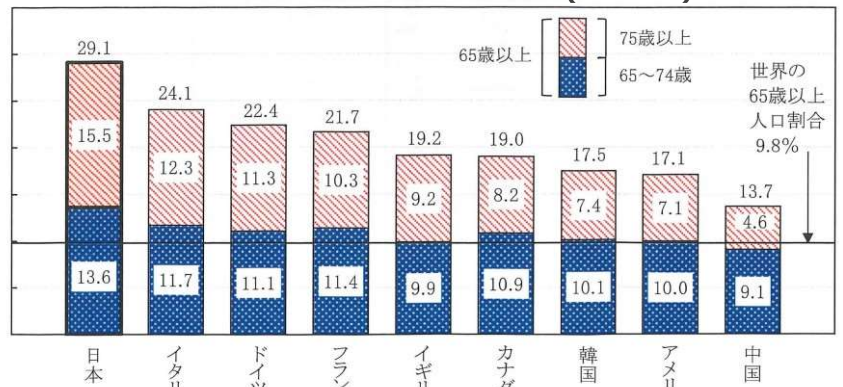
日本の高齢化率 29.1% は世界一 主要国の高齢化率も上昇傾向

令和4年9月18日、総務省統計局から発表された「統計からみた我が国の高齢者」によれば、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は29.1%で、令和3年10月1日(人口推計)の高齢化率28.9%からさらに0.2ポイント上昇し、過去最高となりました。

高齢化率は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期〔昭和46(1971)年～昭和49(1974)年〕に生まれた世代が65歳以上となる令和22(2040)年には35.3%、65歳以上人口が減少に転じる令和24(2042)年以降も高齢化率は上昇を続け、令和47(2065)年には38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上となる社会が到来すると推計されています。

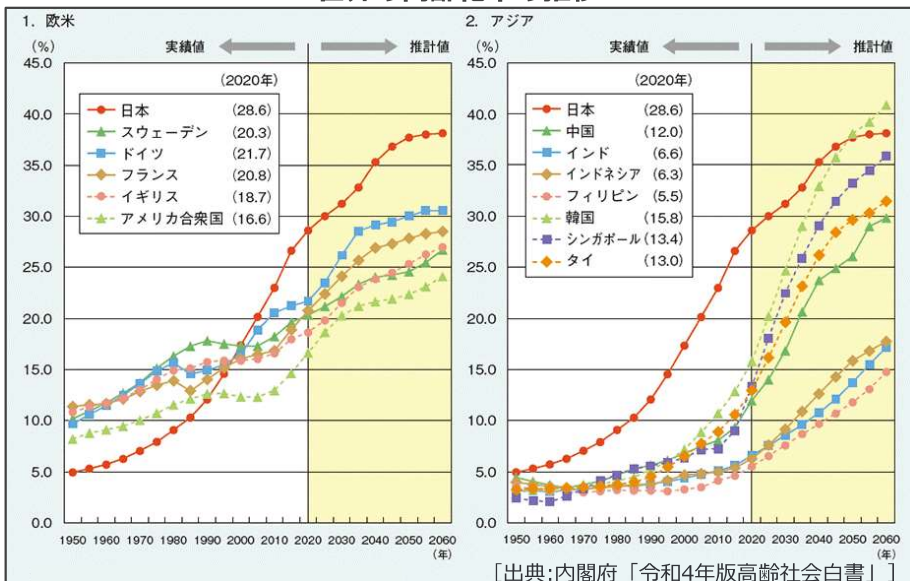
右図の主要国における令和4(2022)年の高齢者人口の割合を比較すると、65～74歳及び75歳以上の双方で、日本が最も高くなっています。

主要国における高齢者人口の割合の比較(2022年)



【出典:総務省「統計トピックスNo.132 統計からみた我が国の高齢者」】

世界の高齢化率の推移



世界の高齢化の進展と日本の役割

左図の世界の主要国の高齢化率の推移をみると、各国とも高齢化率は上昇傾向にあります。シンガポール、韓国、タイなどでは日本を上回るスピードで高齢化が進展すると見込まれており、アジア諸国では、少子高齢化の問題が深刻になっています。

アジアの中でいち早く少子高齢化を迎えた日本は、様々な取組を通して、世界でトップの超高齢社会を実現していますが、アジア諸国からは、こうした日本の経験・技術・知見を活用した協力が求められています。会員である高齢者が同世代、次世代、そして地域社会を支えている私たちシルバー人材センター事業もその一つです。

特集

シルバー人材センターに世界も注目！

世界の高齢化が進展する中で、高齢者の多様な就業ニーズに対応し、定年退職後等において、臨時的・短期的又は軽易な就業を希望する者に対して、意欲や能力に応じた就業機会、社会参加の場を総合的に提供しているシルバー人材センターは、世界に例を見ない高齢者のための就業システムとして、世界から注目されています。

センターの魅力を世界に発信

全シ協やセンター・連合本部への海外の行政機関や報道機関等からの来訪は、平成27年以降年々増加してきました。

さらに、平成28年の台湾大学で開催された高齢者の就労に関する国際フォーラム及び平成30年の台北大学でのシンポジウムにおいて、全シ協専務理事が講演を行うとともに、令和元年には、台北で開催された国際実務フォーラムにおいて、新潟県柏崎市センター事務局長が講演を行うなど、海外でもセンターの取組を紹介し、高い関心を集めています。※1

※1 「月刊シルバー人材センター」平成28年10月号、令和2年6月号

※2 台湾の高齢化率は、令和4(2022)年17.5%、令和7(2025)年20.0%、令和52(2070)年43.7%と見込まれています。

(令和4年8月23日 国家発展委員会発表)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による入国制限により、令和2年から来訪が休止していましたが、昨年6月以降、マレーシア及び韓国の行政機関から全シ協に来訪いただくとともに、ニューヨークタイムズ東京支社及びオ・グローブ紙(ブラジル)から取材を受けました。



2022/6/2 マレーシア人材省タレントコープ社



2022/12/16 韓国保健福祉部、韓国老人人力開発院



2022/10/19 英国議会庶民院BEIS委員会所属議員団



2023/2/14 ドイツ連邦議会労働社会委員会

全シ協への海外訪問団来訪等の状況
(平成27年4月～令和4年12月) (回数)

	行政機関	大学	民間団体	マスコミ
韓国	4	1	4	
台湾 ※2	2	2		
マレーシア	4			
シンガポール			1	
オーストラリア			1	
アメリカ				2
イギリス				1
フランス				1
ブラジル			1	

各国からの訪問の傾向

全シ協への来訪状況は上の表のとおりですが、高齢化率の上昇が顕著なアジア各国からは、日本の高齢者政策及び高齢者が活躍できる場としてのセンターの設立や活動内容に関する情報収集、センターの就業現場の視察などが主な目的となっており、行政機関や大学、労働関係団体などからの訪問となっています。

一方、欧米からの来訪はこれまでマスコミだけとなっており、65歳以上でも働き続ける人が多い理由などについての質問が中心となっていました。アジアはもとより、高齢化が本格化してくる欧米においても、高齢者の就労問題への関心が高くなってきています。

昨年10月訪日した「英国議会庶民院BEIS委員会所属議員団」は、大阪労働局での意見交換後、大阪市センターの会員の就業風景(自転車保管所)の見学を行っています。また、今年2月には「ドイツ連邦議会労働社会委員会」のメンバーが京都府シルバー連合を訪問予定です。

センターが世界標準に

超高齢社会の中で、高齢者が元気に、楽しく、地域に貢献しているシルバー人材センターの取組は、高齢化が本格化する各国に向けた「世界標準」となるのではないのでしょうか。

全シ協からのお知らせ

ーあけましておめでとうございます 本年もよろしくお願いたしますー

- 「シルバー人材センター事業 関係法令・規程集(改訂版)」3月販売予定
 - ・平成26年3月に発行以来、9年ぶりの改訂版です。ぜひお買い求めください。
 - ・販売価格は、税込5,500円(予定)。1月中旬に予約開始予定です。

